

### 【全体概要】

県内のクルクマ生産は、碧南市で「シャローム」の切り花生産が、海部地域では愛知県育成品種「アイルージュ」の切り花生産と鉢花生産が行われている。「高品質な切り花と球根養成が両立した栽培技術」、「組織培養苗生産技術」及び、「低コストで良質な鉢花の6月出荷技術」を確立し、クルクマの安定生産を図る。

### 新品種・新技術等の概要

#### 【技術1】高品質な切り花と球根養成が両立した栽培体系

施肥管理の改善により、切り花の品質を落とすことなく、貯蔵根の着生量を向上させる技術の確立と普及。

#### 【技術2】低コストで良質な鉢花の6月出荷技術

6月出荷作型の無加温パイプハウスでの球根蒸込み処理や多層栽培ベンチにおけるLED補光による低コスト化技術の確立と普及

#### 【技術3】組織培養苗生産技術

鉢花生産者等への球根安定供給を目的とした組織培養技術の開発及び普及方法の検討

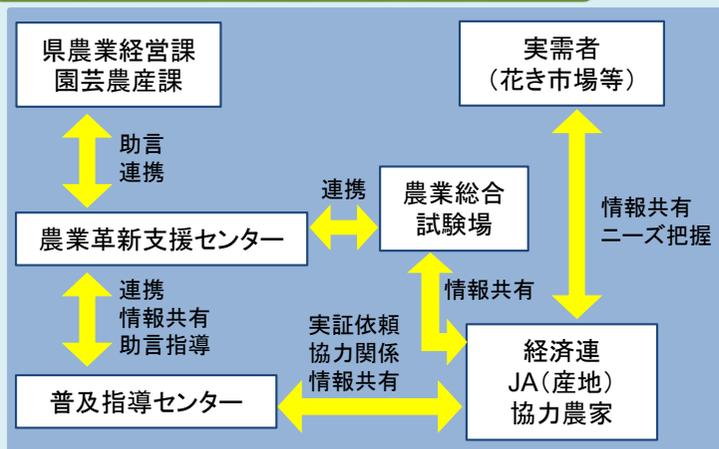


愛知県育成品種「アイルージュ」

### 主な取組内容

- 高品質な切り花生産と球根養成の両立可能な施肥管理方法の検証
- 無加温パイプハウスを用いた球根蒸込み処理やLED補光による低コストで良質な鉢花の6月出荷技術を検証
- 検証結果の検討と、クルクマ生産技術マニュアルの作成
- 組織培養苗生産技術の開発と、生産力の検定
- 球根(苗)供給システム構築への手引きの作成

### 実施体制図



・農業革新支援センターが中心となり、農業総合試験場と協力し、生産者、実需者との連携を図りながら、事業の調整・進行管理を行う。

### 実績と今後の展開

- 短日期の窒素施用を制限することで、切り花生産と球根養成を両立することができた。この技術を活用した結果、切り花農家が生産する鉢花用球根が令和元年度の1.4万個から令和3年度の3万個に増加した。
- 「アイルージュ」の催芽処理最適温度(20～30℃)及びLED補光に必要な光量子束密度を明らかにした。
- これまでの知見と検証結果を基にクルクマ生産技術マニュアルを作成した。
- 「アイルージュ」の組織培養苗生産技術を確立し、生産効率や、組織培養苗の特性を検証して球根(苗)供給システムへの手引きを作成した。
- 今後は、マニュアル及び手引きを活用して、新技術の産地への導入を進め、産地の強化を図る。